



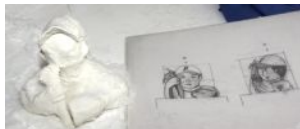
## 小樽で『活性化フォーラム』



自治体政策の研究に取り組んでいる地域活性化フォーラム主催のフォーラムが2月1日、小樽市で開催されました。

フォーラムでは元恵庭市長の中島興世さんを進行役に、小樽商科大学の伊藤教授、北海道リソ(株)の篤村社長、木村としあきさんが「農商工連携と観光～女性・若手・退職者の活躍場づくり～」をテーマに意見を交わしました。フォーラムは今後も函館、帯広、釧路、旭川、遠軽で予定されています。

## 今年は「斎藤佑樹」UIゼンセンの皆さんが雪像づくり



▲雪像づくりに参加した皆さん  
（上）木村としあきさん、（下）伊藤秘書、山本秘書

2月7日に開幕する札幌雪まつりに向け、UIゼンセン同盟北海道支部の青年組織であるヤング・リープスの皆さんが雪像づくりに励んでいます。約6倍の競争率を勝ち抜き今年で連続9回目の参加となります。6日までに延べ100名の組合員が参加して作る雪像は今話題の『斎藤佑樹』。場所は木村としあき後援会のある昭和ビル前の大通り西5丁目。6日には木村としあきさんも参加してお披露目セレモニーが予定されています。どんな祐ちゃんが登場するか乞うご期待！

## 山本秘書、伊藤秘書も奮闘

木村としあきさんを陰で支えている山本秘書（右）と伊藤秘書（左）お二人とも木村さんの抜群な行動力に四苦八苦しなながらも、『逢う人に感動を与える、やる気を出させる人』と話し、「木村さん一人が、逢うことのできる人は限られる。ぜひ、一度逢った人が木村さんに成り変わって支持の輪を広げてほしい」と呼びかけています。



▲200名が参加して開催された学習会

1月30日、自治労道本部女性部の政治学習会が開催され、木村さんが「地域活性化・再生・まちづくり」をテーマに講演しました。木村さんは、「道職員が住民ともしっかり関わりたいと望んでも、今の組織の中ではかなわない。まずは、知事が道職員と真剣にむき合う場をつくっていくことが大事」と、日々、住民サービスを担う職員が報われる道政をつくる意気込みを語りました。参加された皆さんの感想を一部紹介します。

★私にも小さな何かができるかも！木村さんは何かを変えてくれるのかも本気で思えた。知事になってもらって、本当に何が変わるのかを見てみたい。  
★この人にやってもらいたいと本当に思える知事候補が出たと思います。

★この集会に参加しなければ、木村さんの実績、すばらしさ、応援したいと思うことがわからなかった、知らなかったかも。いつもの選挙かなくらいしか思えませんでした。木村さんのすごさを組合員だけでなく、多くの人へ伝えたい。

「キムトミランマン、急増中！」



▲一人ひとりの想いを花びらに託したメッセージボードをいただきました

★具体的、実践的な内容で本当にリーダーになってほしい人だと思った。おかげで知事はいらない。元気な北海道になりそうな予感がする。  
★職員としてどんなことができるか、住民と一緒に汗かき人になり、地域の魅力を育てたい。自信をもって木村さんを推薦できるし活動できる。

★木村さんのパワーに圧倒され、まだやれることがある!!と再確認しました。  
★やる気が湧くお話しで、心から知事として活躍してほしいと思いました。  
★とても元気になりました。この方に任せてみたいと思いました。



★一体化、気づき、元気、現場を大切に、こういったキーワードをうわべの言葉じゃなく本当に実現してくれるリーダーが現れたと思いました。この人を知事にしなきゃ北海道は破滅する。  
★北海道にこんなすごい人がいたなんて感動です。



→買っていただいた著書にサインをと、長い列ができました